

15 カ月齢の黒毛和種肥育牛における *Mycobacterium avium* subsp. *hominissuis* による出血を伴う 非結核性抗酸菌症

米山 伸^{1)†} 日高慎也¹⁾ 谷ヶ久保 佑也²⁾ 永田礼子³⁾ 芝原友幸^{4),5)}

- 1) 宮崎県宮崎家畜保健衛生所 (〒 880-0212 宮崎市佐土原町大字下那珂 3151-1)
- 2) 宮崎県延岡家畜保健衛生所 (〒 882-0882 延岡市小野町 4234)
- 3) 国研農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門 (〒 305-0856 つくば市観音台 3-1-5)
- 4) 国研農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門鹿児島研究拠点 (〒 891-0105 鹿児島市中山町 2702)
- 5) 大阪公立大学大学院 獣医学研究科 (〒 598-8531 泉佐野市りんくう往来北 1-58)



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/77/1/77_e1/_article-char/ja

(2023 年 6 月 19 日受付・2023 年 10 月 16 日受理・2024 年 1 月 11 日公開)

要 約

宮崎県内の黒毛和種牛飼養農家で、15 カ月齢の肥育牛が慢性の下痢及び消瘦を呈し、予後不良となった。空腸、回腸、盲腸及び結腸の粘膜は肥厚し、盲腸では粘膜の点状出血も認められた。組織学的に空腸、回腸、盲腸及び結腸の粘膜固有層及び粘膜下組織並びに腸間膜リンパ節のリンパ洞及び小節周囲リンパ組織で高度な肉芽腫性炎がみられ、盲腸では出血も認められた。細菌学的検査では、回腸及び結腸内容物から *Mycobacterium* 属菌が分離され、遺伝子解析の結果、*M. avium* subsp. *hominissuis* (Mah) と同定された。本症例は Mah を原因菌とする非結核性抗酸菌症と診断された。出血を伴う非結核性抗酸菌症は動物では報告が少ない症例であるため、今後症例を集めさらなる検索が必要である。

——キーワード：子牛, *Mycobacterium avium* subsp. *hominissuis*, 非結核性抗酸菌症.

----- 日獣会誌 77, e1~e6 (2024)